



その6 財務部

県内企業の景況感

「下降」超幅が大幅に縮小

財務省景気予測調査結果から

財務部が平成十四年二月に県内の資本金一千万円以上の法人企業（金融・保険を除く）を対象に実施した財務省景気予測調査結果の概要を紹介します。

1 景況判断

十四年一～三月期の景況判断BSI（前期比「上昇」「下降」社数構成比・季節調整済）をみると、製造業、非製造業ともに「下降」超幅が大幅に縮小していることから、全産業でも「下降」超幅が大幅に縮小している。

先行きについては、十四年四～六期は非製造業で引き続き「下降」超で推移するものの、製造業で「上昇」超に転じることから、全産業では「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

十四年七～九月期は非製造業で「下降」超幅が縮小するものの、製造業で「下降」超に転じることから、全産業ではわずかながら「下降」超幅が拡大する見通しとなっている。

売上高 … 十三年度通期、十四年度上期ともわずかながら増収見通し

十三年度下期は、製造業で減収とみているものの、非製造業で増収とみていることから、全産業では一・五%の増収見込みとなっている。

十三年度通期は、製造業で減収とみているものの、非製造業で増収とみていることから、全産業では二・〇%の増収見込みとなっている。

十四年度上期は、製造業、非製造業とも増収とみていることから、全産業では〇・八%の増収見通しとなっている。

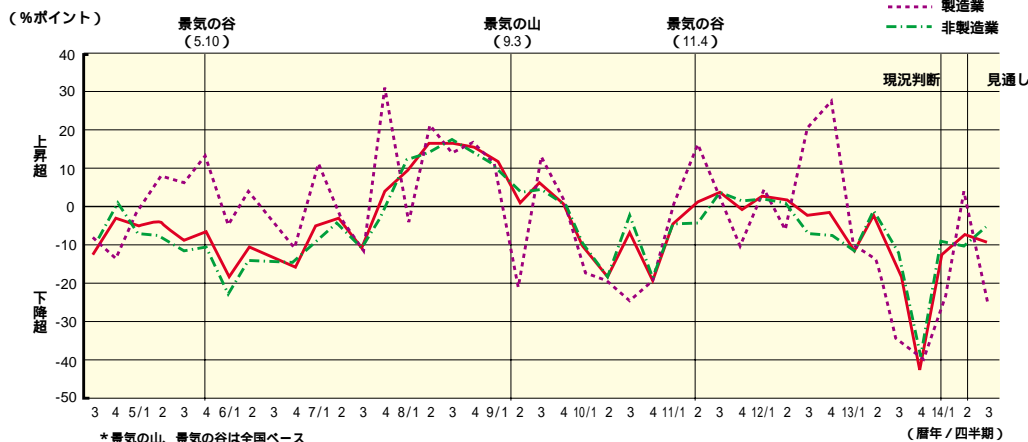
経常損益 … 十三年度通期、十四年度上期とも減益見通し

十三年度下期は、製造業で減益とみているほか、非製造業でも大幅な減益とみていることから、全産業では二八・七%の減益見込みとなっている。

十三年度通期は、製造業、非製造業とも減益とみていることから、全産業では十三・二%の減益見込みとなっている。

十四年度上期は、製造業で増益とみているものの、非製造業で減益とみていることから、全産業では二・六%の減益見通しとなっている。

景況判断BSIの推移（季節調整済）



グラフの説明
BSIとは……
景気動向指数（ビジネス・サーベイ・インデックス）をいい。表の見方は次のとおりです。
BSI＝「上昇」等と回答した企業の構成比）（「下降」等回答した企業の構成比）

売上高（石油、電気、ガスを除く）（増減（ ）率：％）

区 分	前 年 同 期 比			
	13年度			14年度
	上 期	下 期	通 気	上 期
全産業	2.5	1.5	2.0	0.8
製造業	2.6	2.5	2.5	1.8
非製造業	3.2	2.0	2.6	0.7
建設業	7.7	6.8	0.0	0.5
卸・小売業	5.6	3.8	4.7	0.9
サービス業	3.8	11.2	3.5	2.6
大企業	3.5	4.9	4.2	0.4
中堅企業	2.4	0.4	1.0	1.4
中小企業	0.9	0.4	0.7	1.0

経常損益（石油、電気、ガスを除く）（増減（ ）率：％）

区 分	前 年 同 期 比			
	13年度			14年度
	上 期	下 期	通 気	上 期
全産業	0.9	28.7	13.2	2.6
製造業	40.4	3.4	21.3	4.0
非製造業	7.6	36.6	11.2	3.4
建設業	4.1	11.6	7.7	19.7
卸・小売業	1.6	10.7	5.7	0.1
サービス業	42.3	赤字転化	30.7	17.2
大企業	13.6	42.2	14.7	0.6
中堅企業	19.1	22.6	20.7	2.4
中小企業	0.6	19.1	4.5	8.1